



# カムくん通信



ホームページ↓

美々津小学校だより

11月号②

令和7年11月20日

文責：校長 小野原

笑顔 協力 思いやり みんなが楽しい美々津小

## 鑑賞教室を行いました！

すっかり秋の気配のこの頃です。引き続き、規則正しい生活、栄養・睡眠、手洗い・うがい等を心がけましょう。

さて、先日は鑑賞教室を行いました。すてきな音楽を聴いたり、一緒に演奏したりして、子どもたちも楽しい時間を過ごしていました。今村様をはじめ、来ていただいた皆様、ありがとうございました。

子どもさんのことで気になることがあるときは、いつでも遠慮なくお知らせください。



## 12月の主な行事予定

- 5日（金） オープンスクール  
(持久走大会・学級懇談)  
8日（月） 避難訓練（火災）  
9日（火） 茶道教室（3・4年）  
16日（火）～学力テスト（4年以外）  
15日（月） 冬休み前全校集会  
17日（水） 凧作り教室（5・6年）  
19日（金） 凧作り教室（3・4年）  
19日（金） おもちゃ祭り  
(1・2年：寺迫小と)  
20日（土） 美々津ふれあいマルシェ  
(合同家庭教育学級)  
24日（水） 2学期終業式 集団下校  
※ 予定ですので、インフルエンザ等で変更になる場合があります。

## 持久走大会について

12月5日（金）は、オープンスクールになっています。今回は、持久走大会をメインに、学級懇談も計画しています。遅くなりましたが、案内は昨日配付しています。ご覧ください。

また今年度は、これまでの運動場ではなく、美々津の町並みを走るコースに変更しています。保護者だけでなく、地域の方にも応援していただきながら、子どもたちには、町並みを快走してほしいと思います。子どもたちへ熱い声援をよろしくお願いします。

コース等につきましては、近づきましたらお知らせします。また、校外を走りますので安全面を考え、保護者の方にも何名かポイントに立っていただくななど、お手伝いをお願いしたいと思います。

これからも「ふるさとと共にある学校」を推進していきます。



※ 裏もご覧ください。

## ～ 新聞から ～

「プラスの言葉で前向きに」

子どもの言葉遣いが気になります。しかし、お説教では子どもは耳をふさいでしまうでしょう。

「ことだま」という言葉を聞いたことはありますか。日本では、大昔から「言葉には魂が宿っていて、口に出了した言葉通りの結果をもたらす力がある」と言い伝えられてきました。「ことだま」は、「言葉に宿るエネルギー」とも言えます。

自分の言葉を一番近くで聞いているのは誰ですか。それは自分です。ですから、プラスの言葉は言われた相手だけでなく、その言葉を発した自分にもプラスのエネルギーをもたらします。誰かに「ありがとう」と言えば、人から「ありがとう」と言われたときと同じ効果を自分の体が受け止めるのです。

残念なことに、マイナスのエネルギーを持つ言葉をたくさん使う人がいます。「面倒くさい」とつぶやいた言葉は、自分の耳に最初に入り、ますますやる気を失わせます。「嫌だ」「どうせ」「できない」など、本当はできる力があるのに言霊の力で「できない」方向に進んでしまうことがあるかもしれません。

人は誰でもプラスの言葉もマイナスの言葉も吐くものです。マイナスの言葉を言わないように気を付けると、「吐」の字の横棒（マイナス）が消えて「叶」という字になります。どうせなら願いが叶う人生の方がいいと思いませんか。



マイナスの言葉をプラスの言葉に言い換える練習です。「疲れた」という言葉、口癖になっていませんか。それは「よく頑張った」結果です。「忙しい」と投げ出したくなるときもあります。それは「人気芸能人並みのスケジュール」と言えます。「これしか進まなかった」と落ち込むときは、進んだ方に目を向ければ「半分も進んだ」と言うことができます。

言葉が変われば、人生も変わります。楽しく笑える前向きな言葉を使っていきましょう。

※ 分かってはいるけれど・・・。ご家庭で子どもさんにも話をしてみてください。

